

船 舶 事 業

1. 概 況	425
2. 経 営 の 基 本	425
3. 事 業 実 績	427
4. 財 務	428

▶ サクラフエアリーと桜島



船舶事業

1 概況

本市の船舶事業は、旧桜島町で運営していた交通事業（桜島フェリー）を引き継ぎ、平成16年11月1日に、本市4番目の公営企業として事業を開始した。

桜島フェリーは、昭和9年、旧西桜島村の村民の生活航路・通学航路として事業を開始して以来、桜島地域と市街地のみならず、薩摩・大隅両半島を結ぶ海上交通機関として、重要な役割・使命を担っている。

この間、人道橋・可動橋等接岸施設の設備充実を図るとともに、船舶の大型化及びバリアフリー化を図り、現在、船舶5隻を保有し、1日65航海（130便）の24時間運航をしている。

桜島フェリーは、本市における総合的な交通体系の中に位置付けられるとともに、鹿児島が世界に誇る観光資源である桜島へのアクセスであり、都市型施設と一体となって本市の観光振興に寄与することや、桜島の火山活動の活発化に伴う島内住民等の避難に要する救援船舶としての役割を求められている。

船舶事業としては、東九州自動車道の延伸等の影響により収益が減少する中、桜島港の施設整備や船舶の更新など多額の経費が見込まれ、船舶事業の経営が今後ますます厳しくなっていくことが予想されることから、平成29年度に船舶事業経営計画を見直し、計画最終年度の船舶事業のあるべき姿を「2022年ビジョン」として定め、各種取組みを進めている。

また、誘客・増収を図るため、県内外でのPR活動を行うとともに、よりみちクルーズや錦江湾を巡る、錦江湾魅力再発見クルーズに加え、納涼観光船を運航している。

令和2年度は、新たに安全運航推進室を設置し、避難港離着岸訓練や緊急対応訓練のほか、安全管理研修を実施し、公共交通機関としてより安全で快適な運航・効率的な事業運営に努めることとしている。

2 経営の基本

(1) 設置

市民の海上交通を確保するとともに、福祉の向上に資するため、船舶事業を設置し、企業の経済性を発揮するとともに公共の福祉を増進するように運営するものとする。

(2) 事業（創業 昭和9年12月1日）

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| ①事業区域 | 鹿児島湾内の平水区域 |
| ②事業航路 | ア 一般旅客定期航路 桜島～鹿児島航路
よりみちクルーズ航路 |
| | イ 旅客不定期航路 鹿児島湾内 |

- ア 6枚綴り 自動車航送運賃の5倍の価額
 イ 42枚綴り 自動車航送運賃の30倍の価額
 （3m以上4m未満・4m以上5m未満の車長）

④ 定期旅客運賃

○定期（1か月・3か月）乗船券

- ア 通勤（大人）・・・基準となる普通旅客運賃を60倍した額の5割5分引
 イ 通学（大人）・・・基準となる普通旅客運賃を60倍した額の8割5分引
 ウ 通学（小児）・・・イに掲げる方法により算出された額の2分の1

⑤ 旅客不定期航路に係る料金

種 類	納涼観光船	錦江湾魅力再発見クルーズ
大 人	1,500円	1,500円
小 児	750円	750円
ファミリー乗船券	3,600円 ※4人（うち大人2人まで）	

⑥ 貸切料金

1隻440,000円（2時間以内）

3 事業実績

(1) 運輸実績（一日平均）

区 分		年 度				
		平成27	平成28	平成29	平成30	令和元
営業航路（km）		57.8	57.8	57.8	57.8	57.8
運航路線数（本）		3	3	3	3	3
在籍船舶（隻）		6	6	5	5	5
一日平均	運航キロ（km）	494.6	498.0	487.8	477.3	467.5
	旅客（人）	8,410	8,914	9,206	9,343	8,552
	車両（台）	3,395	3,547	3,566	3,567	3,187
	運航収益（円）	5,111,930	5,344,323	5,444,298	5,498,202	5,428,207

(2) 収支概要

（単位：千円）

区 分		年 度				
		平成27	平成28	平成29	平成30	令和元
総 収 益 ①		2,276,260	2,226,826	2,496,983	2,323,870	2,299,222
総 費 用 ②		2,414,009	2,471,330	2,593,532	2,747,441	2,570,830
差 引 ① - ②		△137,749	△244,504	△96,549	△423,571	△271,608
収益率①／②（％）		94.3	90.1	96.3	84.6	89.4

4 財 務

(1) 予算概要（令和2年度）

（単位：千円）

収 入		支 出	
款 項 目	予 定 額	款 項 目	予 定 額
収益的収入	2,917,430	収益的支出	3,065,511
1 船舶事業収益	2,917,430	1 船舶事業費	3,065,511
1 営業収益	2,669,898	1 営業費用	2,888,852
1 運航収益	2,610,332	1 旅客・車両航送取扱費	2,174
2 運航雑収益	40,042	2 動力費	347,149
3 附帯施設収益	19,524	3 船舶運航費	902,593
2 営業外収益	241,917	4 安全運航管理費	152,695
1 受取利息	200	5 船舶修繕費	14,189
2 他会計負担金	16,728	6 船舶検査費	249,266
3 他会計補助金	54,215	7 業務費	333,285
4 長期前受金戻入	164,560	8 営業費	70,100
5 雑収益	6,214	9 遊覧船運航費	20,615
3 特別利益	5,615	10 航路附属施設管理費	129,670
1 その他特別利益	5,615	11 一般管理費	231,484
		12 減価償却費	435,529
		13 資産減耗費	103
		2 営業外費用	161,371
		1 支払利息	24,474
		2 消費税及び地方消費税	136,896
		3 雑支出	1
		3 特別損失	5,288
		1 その他特別損失	5,288
		4 予備費	10,000
		1 予備費	10,000
		収支差引	△148,081
資本的収入	123,204	資本的支出	257,489
1 資本的収入	123,204	1 資本的支出	257,489
1 補助金	123,204	1 建設改良費	11,079
1 他会計補助金	123,204	1 工具、器具及び備品購入費	11,079
		2 企業債償還金	147,667
		1 企業債償還金	147,667
		3 船舶建造年賦支払金	98,743
		1 船舶建造年賦支払金	98,743
○ 損益勘定留保資金等	134,285		
合 計	3,174,919	合 計	3,174,919

(2) 各年度損益計算書 (税抜)		(単位:千円)	
科 目	年 度	令和元	令和2(予定)
1 營 業 収 益		2,039,301	2,427,194
(1) 運 航 収 益		1,986,724	2,373,030
(2) 運 航 雑 収 益		35,022	36,415
(3) 附 帶 施 設 収 益		17,555	17,749
2 營 業 費 用		2,535,187	2,785,490
(1) 旅 客 ・ 車 両 航 送 取 扱 費		1,335	2,164
(2) 動 力 費		293,388	315,590
(3) 船 舶 運 航 費		885,756	895,948
(4) 運 航 管 理 費		101,489	0
(5) 安 全 運 航 管 理 費		0	151,450
(6) 船 舶 修 繕 費		12,701	12,899
(7) 船 舶 検 査 費		210,879	226,867
(8) 業 務 費		292,445	309,933
(9) 營 業 費		62,092	68,440
(10) 遊 覧 船 運 航 費		15,911	18,866
(11) 航 路 附 属 施 設 管 理 費		58,322	117,950
(12) 一 般 管 理 費		245,959	229,751
(13) 減 価 償 却 費		354,712	435,529
(14) 資 産 減 耗 費		198	103
營 業 損 益		△495,886	△358,296
3 營 業 外 収 益		236,307	241,468
(1) 受 取 利 息		0	200
(2) 他 会 計 負 担 金		15,965	16,728
(3) 他 会 計 補 助 金		50,890	54,215
(4) 長 期 前 受 金 戻 入		163,938	164,560
(5) 雑 収 益		5,514	5,765
4 營 業 外 費 用		19,219	24,507
(1) 支 払 利 息		18,818	24,474
(2) 雑 支 出		401	33
經 常 損 益		△278,798	△141,335
5 特 別 利 益		23,614	5,615
6 特 別 損 失		16,424	5,288
7 予 備 費		0	9,091
当 年 度 純 損 益		△271,608	△150,099

<× ㄷ>